

水稲ヒノヒカリの山間部用栽培指針

- ◎ **山間部(標高300m~400m程度)**で栽培可能な中生品種。出穂期は8月中旬、成熟期は9月下旬から10月初旬。
- ◎ **いもち病常発地には作付けしない。**いもち病に弱く、気象条件によって、かなりの被害を受けるので、種子消毒と病害虫防除を徹底する。

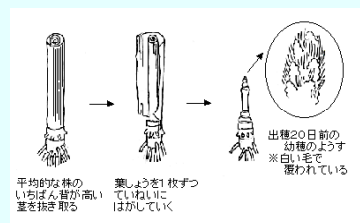
月	旬	主な生育段階及び作業	栽培管理のポイント																			
4	上	○ 塩水選 ○ 種子消毒 ○ 播種 (出芽期)	健苗育成 ①種籾の準備: 10a当たり3~4kg。 ②塩水選(比重: 1.13)、種子消毒の実施 ③浸種を十分に: 出芽しにくい ため、十分な浸種と催芽で、均一なハト胸状態に。 ④播種: 4月上旬 量(ばらまき): 乾籾で100~120g/箱 浸種籾で120~150g/箱 ⑤育苗の目標(中苗) 育苗日数は30~35日 草丈15~20cm 葉数3.5~4.0枚(不完全葉を除く) ⑥温度管理 育苗期間中は、苗を軟弱徒長させないため、昼間は25℃以上にしない。																			
	中																					
	下																					
5	上	△ 元肥 △ 病害虫防除 △ 田植	元肥…いもち病に弱いため、施肥量が多過ぎないように注意。 病害虫防除 …長期残効型の箱施用剤を施用(いもち病・イネミズゾウムシ防除) 田植…①時期: 5月上旬 (秋冷による登熟不良を防ぐため、標高の高い所では田植え時期が遅れないよう注意) ②栽植密度: 条間を30cm、株間は18cm(18.5株/m ²) 植付本数は3~4本/株 ※ 太植えにすると過繁茂となり、いもち病、紋枯病の発生を助長 雑草防除…地域の慣行に準じて行う。																			
	中	(活着期) 雑草防除																				
	下																					
6	上		<施肥> (成分量: kg/10a) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地帯</th> <th colspan="3">山間部</th> </tr> <tr> <th>窒素</th> <th>リン酸</th> <th>加里</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元肥</td> <td>3~4</td> <td>8.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>穂肥</td> <td>3.0</td> <td>-</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6~7</td> <td>8.0</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table>	地帯	山間部			窒素	リン酸	加里	元肥	3~4	8.0	4.0	穂肥	3.0	-	3.0	合計	6~7	8.0	7.0
	地帯	山間部																				
		窒素		リン酸	加里																	
元肥	3~4	8.0	4.0																			
穂肥	3.0	-	3.0																			
合計	6~7	8.0	7.0																			
中																						
下	病害虫防除																					
7	上	中干し (最高分けつ期)	(病害虫防除)…紋枯病、ウンカ類 穂肥 幼穂長を確認して、下の2つの方法のいずれかで施用。 <出穂期の20日前: 主稈の幼穂長が2~3mmの頃> ・出穂期の20日前の1回 緩効性肥料を窒素成分で3kg/10a ・出穂期の20日前と10日前に分施 速効性肥料を窒素成分で各1.5kg/10a 平年は、出穂20日前が7月27日頃、出穂10日前が8月6日頃 ※大和野菜研究センター(標高350m)で5月14日田植えの場合 (注)元肥に緩効性一発肥料を使用する場合 窒素成分で6kg/10a (穂肥を施用しないこと。) 病害虫防除 …いもち病(穂いもち)																			
	中	[病害虫防除]																				
	下	穂肥 (幼穂形成期)																				
8	上	(穂ばらみ期) 病害虫防除	(病害虫防除)…いもち病(穂いもち) ※農薬の使用に当たっては「使用上の注意(ラベルなどに記載)」をよく読み、遵守する。																			
	中	□ (出穂期)																				
	下	(穂ぞろい期) [病害虫防除] (乳熟期) [病害虫防除]																				
9	上	(糊熟期)	(病害虫防除)…ウンカ、カメムシ類の多発年には追加防除 水管理…出穂後30日間は間断かん水とし、過度に湛水したり、乾き過ぎないようにする。																			
	中	(黄熟期)																				
	下	■ (成熟期) ■ 刈取・乾燥・調製																				
10	上		刈取…刈取適期は全体の 籾の9割程度 が黄色く変わった頃 出穂期の45日後くらい。 ※刈遅れると、胴割米、茶米、褐色米等が増加。適期に刈取り、良質米作りに努める。 乾燥・調製…乾燥目標水分は14.5%。籾の水分が高いときは低めの温度で乾燥。 ライスマグレーダー(網目1.8mm)で選別し、屑米を除く。																			



出芽期	30~32℃
緑化期	昼20~25℃、夜15~18℃
硬化期	昼15~22℃、夜10~15℃

地帯	山間部		
	窒素	リン酸	加里
元肥	3~4	8.0	4.0
穂肥	3.0	-	3.0
合計	6~7	8.0	7.0

<幼穂確認の方法>



(生育の目安) 水稲奨励品種決定調査(場所: 宇陀市榛原三宮寺(標高350m))の2005~2014年データを基に作成。栽植密度: 17.9株/m²(条間31cm・株間18cm)。

播種期	田植期	出穂期	成熟期	稈長	穂長	m ² 穂数	精玄米重	千粒重
4月上旬	5月11日	8月16日	9月28日	80~87cm	19~21cm	280~350本	490~640kg/10a	22.4~23.4g